

**新型コロナウイルスを疑う症状とは**

　１．37.5℃以上の発熱が2日以上続く（高齢者の基準）

　２．強い倦怠感（だるさ）がある

　３．呼吸困難などの呼吸器症状がある

　４．医師が総合的に判断した結果新型コロナウイルス感染症を疑う

上記いずれかの症状がある場合には**↓下記へ電話**

**「帰国者・接触者相談センター」（熱海保健所内）**

|  |  |
| --- | --- |
| **平日8時30分～17時15分** | **土曜，日曜，祝日，夜間** |
| 0557-82-9125 | 090-3309-6707 |

上記センター相談後、感染が疑われる場合「帰国者・接触者外来」に振分けがされます。

疑い症例の方の状態によっては外来受診が困難であることを告げ、PCR検査の方法をセンターと相談します。

* PCR検査結果が出るまでは1日～2日の期間を要します
* 熱が出始めたのはいつか、それまでの行動範囲などを書き留めます

「帰国者・接触者相談センター」になかなか繋がらない場合など

対応に不安がある場合は長寿支援室まで連絡してください。

対応が不安な時は：　０５５７－８６－６３２５



**疑い症例の方の受診や介護について**

　受診方法や、検査を待つ間、検査後の疑い症例の方の介護については「感染者」と同様の取り扱いが必要です。以下の点に注意します。

* 帰国者・接触者外来への受診の際は、マスクと手袋（使い捨てガウンも備蓄があれば）を着用し、外来の指示に従います。
* 疑い症例の方を速やかに個室対応とし、介護をする職員を限定して対応します。基本的に部屋の中と外とで区別し、室内のみ羽織るガウン・マスク・手袋を着用とし、居室内で着脱します。個室対応が不可の場合は保健所に相談。

（ガウン・マスク・手袋を脱ぐ時が汚染の危険が高い為注意が必要です　　※１別紙　ガウンテクニック参照　）

●疑い症例の方の部屋を出たら、すぐに手洗いをしっかり行い、新しいマスクを着用してから次の仕事に移ります。

●PCR検査結果が陰性となっても、時間が経って陽性となる場合もあるため、症状（熱や咳など）が納まってから4日間程度は、同様の対応とします。新型コロナウィルス感染症以外の場合も考え、対象者の呼吸苦などの症状や熱が長く続く場合は、検査の結果も含めて相談センターに再度相談します。

●疑い症例の方のケアの際に発生した汚染物（ティッシュや紙おむつ等）は、厳重に口を封じ普通ゴミとは区別して取り扱います。詳細については介護保険最新情報Vol.815を参照。



**PCRで陽性の結果が出た場合**

　●PCR検査結果が陽性であった場合は下記に速やかに連絡をします

　　１．熱海市長寿介護課　介護保険室０５５７－８６－６２８１

　　２．入居者（利用者）の家族

　　３．関連施設（施設内で検討し、迷った場合は１．に相談）

　●陽性者の症状によって即入院か施設内療養かは保健所から指示がされますので搬送方法も含めその指示に従います。

●保健所から速やかに濃厚接触者の調査が入りますが、ここまでの経過を踏んでいれば、陽性者の濃厚接触者は限られている筈なので、濃厚接触者の方はPCR検査を受けます。

●「陽性者が発生した介護施設」には居室の消毒等のために保健所から職員が派遣されます。その指示に従い、居室等の消毒や職員の聞き取り調査に協力してください。

●濃厚接触者（職員）は結果が出るまでは自宅待機となります

●濃厚接触者（入居者・利用者）は感染疑いとして、検査結果が出るまでは、より厳重な対応を行います。個室対応とし、居室内で使用するガウン・マスク・手袋等は保健所から支給される医療用の物を着用します。重点的に保健所より消毒薬や医療用マスクも支給されますので、施設内で備蓄が無く保健所からの支給まで時間を要す場合は、長寿介護課へ連絡ください。

具体的なケアの内容や施設及び通所・訪問系の対応詳細については介護保険最新情報Vol．808及びVol.817を参照してください。